

特別展「木島櫻谷一山水夢中」

2023年6月3日(土)-7月23日(日)

前期：6月3日(土) - 6月25日(日) 後期：6月27日(火) - 7月23日(日)

※ただし《寒月》は6月3日(土) - 6月18日(日)、
《暮雲》は6月20日(火)-7月23日(日)の展示期間となります。

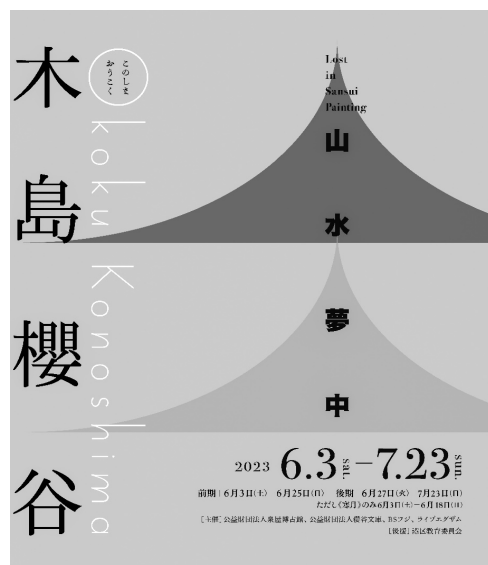
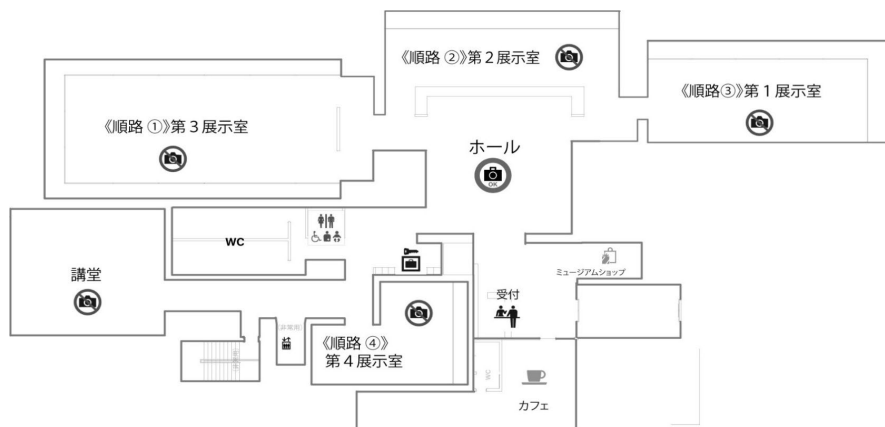
主催：公益財団法人泉屋博古館、公益財団法人櫻谷文庫、BSフジ、ライブエグザム 後援：港区教育委員会

出展目録

※所蔵に記載のない作品は、すべて個人蔵です。

※出品作品は予告なく変更することがあります。

※リストの並びは展示の順序と異なる場合があります。



□■□■□■ご鑑賞にあたってのお願い□■□■□■

- ・本展はホールのみ撮影可能ですが、混雑状況により撮影に制限を設ける場合がございます。また、他のお客様の鑑賞の妨げにならないよう、フラッシュ、三脚等の使用、動画撮影はご遠慮下さい。シャッター音への配慮もお願いします。
- ・館内は全館禁煙です。展示室でのあめ・ガムを含む飲食はご遠慮ください。水分補給はロッカー前の小ホールにてお願いします。
- ・ホール、小ホールも含め、館内での会話はお控えくださいますようお願いいたします。
- ・咳エチケットへのご協力をお願いします。皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

| No. | 期間 | | 作品名 | 作家名 | 制作年 | 材質技法 | 形状員数 | 所蔵 |
|--------------------|----|----|--|-------------------|----------------------|------|------|------|
| | 前期 | 後期 | | | | | | |
| 第1章 写生帖よ！一海山川を描き尽す | | | | | | | | |
| 1-1 | | | うんぼうしゅう のうびだ 写生帖《雲峰集》 濃尾飛驒 | このしま おうこく 木島櫻谷 | 明治39年8月 (1906) | 紙本着色 | 1式 | 櫻谷文庫 |
| 1-2 | | | らくぼくしゅう きょうとらくぼく 写生帖《落木集》 京都洛北 | 木島櫻谷 | 明治38年 (1905) | 紙本着色 | 1冊 | 櫻谷文庫 |
| 1-3 | | | ふようしゅう ふじ・きょうちゅうきしゅうしやうせんきやう 写生帖《芙蓉集》富士・《峡中奇趣》昇仙峡 | 木島櫻谷 | 明治41年5月 (1908) | 紙本着色 | 1式 | 櫻谷文庫 |
| 1-4 | | | けいざんきしゅう やばけい 写生帖《溪山奇趣》 耶馬溪 | 木島櫻谷 | 明治42年5月 (1909) | 紙本着色 | 1式 | 櫻谷文庫 |
| 1-5 | | | かいとうしゅう わかさ 写生帖《海濤集》 若狭 | 木島櫻谷 | 明治38年7～8月 (1905) | 紙本着色 | 1式 | 櫻谷文庫 |
| 1-6 | | | 写生帖 京都近郊 | 木島櫻谷 | 明治30年代 | 紙本着色 | 1式 | 櫻谷文庫 |
| 1-7 | 前期 | | かつらがわしやせい 桂川写生 (商業学校図画課題) | 木島櫻谷 | 明治24年 (1891) | 紙本着色 | 1枚 | 櫻谷文庫 |
| 1-8 | | 後期 | ならさるさわいけ 奈良猿沢池写生 | 木島櫻谷 | 明治24年 (1891) | 紙本着色 | 1枚 | 櫻谷文庫 |
| 1-9 | | | だいひざんしやせいりよこウ 写生帖《大悲山写生旅行》 | 木島櫻谷 | 明治41年 (1908) | 紙本着色 | 1冊 | 櫻谷文庫 |
| 1-10 | | | ふようしゅう ふじ 写生帖《芙蓉集》 富士 | 木島櫻谷 | 明治41年5月 (1908) | 紙本着色 | 1冊 | 櫻谷文庫 |
| 2 | | | だいしやせいちやうじけい 「題写生帖自警」(写生帖より) | 木島櫻谷 | 明治36年 (1903) | 紙本墨書 | 1冊 | 櫻谷文庫 |
| 4 | | | やたて 櫻谷愛用 矢立 | — | 明治～大正時代 (19～20世紀) | — | 1個 | 櫻谷文庫 |

| No. | 期間 | | 作品名 | 作家名 | 制作年 | 材質技法 | 形状員数 | 所蔵 |
|------------------------------|-------|----|-------------------------------|------|-------------------|--------|-------------|--------------------|
| | 前期 | 後期 | | | | | | |
| 第2章 光と風の水墨 — 写生から山水画へ | | | | | | | | |
| 6 | 前期 | | ふじずびようぶ 富士図屏風 | 木島櫻谷 | 明治時代(20世紀) | 紙本着色 | 6曲1双 | |
| 7 | | 後期 | ふじさんずびようぶ 富士山図屏風 | 木島櫻谷 | 明治44年(1911) | 紙本墨画 | 6曲1双 | 浜松市・ 株式会社丸八平野紙店 |
| 8 | 前期 | | ととうのゆうぐれ 渡頭の夕暮 | 木島櫻谷 | 明治38年(1905) | 絹本着色 | 6曲1双 | 千葉市美術館 |
| 9 | | 後期 | わらく 和楽 | 木島櫻谷 | 明治42年(1909) | 絹本着色 | 6曲1双 | 京都市美術館 |
| 10 | | | さいう・らくよう 細雨・落葉 | 木島櫻谷 | 明治38年(1905) | 絹本着色 | 6曲1双 | 福田美術館 |
| 1-4 | | | けいざんきしゅ やばけい 写生帖《溪山奇趣》 耶馬溪 | 木島櫻谷 | 明治42年5月(1909) | 紙本着色 | 1式 | 櫻谷文庫 |
| 11 | | | ばんがくえんむ 万壑烟霧 | 木島櫻谷 | 明治43年(1910) | 紙本墨画金泥 | 6曲1双 | 株式会社 千總 |
| 12 | 前期 | | えんこう 猿猴 | 木島櫻谷 | 明治時代(19~20世紀) | 絹本淡彩 | 1幅 | 京都市美術館 |
| 13 | | 後期 | はじょうぐんきんず 波上群禽図 | 木島櫻谷 | 明治時代(19~20世紀) | 絹本淡彩 | 1幅 | |
| 14 | | | つきよのうさぎ 月夜の兎 | 木島櫻谷 | 明治時代(19~20世紀) | 絹本着色 | 1幅 | |
| 15 | | | きのうず 帰農図 | 木島櫻谷 | 大正元年(1912) | 絹本墨画着色 | 1幅 | 泉屋博古館東京 |
| 16 | | | とまりぶね 泊船 | 木島櫻谷 | 大正4年(1915) | 絹本着色 | 1幅 | |
| 17 | | | なんよういんほんどうしょうへきが 南陽院本堂障壁画 | 木島櫻谷 | 明治43年(1910) | 紙本墨画 | 8面 | 京都・南陽院 |
| 第3章 色彩の天地 — 深化する写生 | | | | | | | | |
| 18 | ~6/18 | | かんげつ 寒月 | 木島櫻谷 | 大正元年(1912) | 絹本着色 | 6曲1双 | 京都市美術館 |
| 19 | 6/20~ | | ぼうん 暮雲 | 木島櫻谷 | 大正7年(1918) | 絹本着色 | 6曲1双 | 大阪歴史博物館 |
| 20 | | | うまやじのはる 駅路之春 | 木島櫻谷 | 大正2年(1913) | 絹本着色 | 6曲1双 | 福田美術館 |
| 21 | 前期 | | てんたかくやまよそおう 天高く山粧う | 木島櫻谷 | 大正7年(1918) | 絹本着色 | 6曲1双 | 櫻谷文庫 |
| 22 | | 後期 | ほうらいずいしよく 蓬萊瑞色 | 木島櫻谷 | 大正時代(20世紀) | 紙本金地着色 | 6曲1双 | |
| 23 | | | ようせつじょう 養拙帖 | 木島櫻谷 | 昭和時代(20世紀) | 絹本着色 | 折帖12図 1冊 | 京都府 (京都文化博物館管理) |
| 24 | 前期 | | はるのうみ 春之海 | 木島櫻谷 | 大正時代(20世紀) | 絹本着色 | 1幅 | |
| 25 | | 後期 | しゅうしょう 秋宵 | 木島櫻谷 | 大正時代(20世紀) | 絹本着色 | 1幅 | |
| 26 | 前期 | | すいごう 水郷 | 木島櫻谷 | 大正~昭和時代 (20世紀) | 絹本着色 | 1幅 | 櫻谷文庫 |
| 27 | | 後期 | ふうせつ 風雪 | 木島櫻谷 | 大正~昭和時代 (20世紀) | 紙本着色 | 1幅 | |
| 28 | | | ゆうけいしゅうしよく 幽溪秋色 | 木島櫻谷 | 大正時代(20世紀) | 絹本着色 | 1幅 | 泉屋博古館東京 |

| No. | 期間 | | 作品名 | 作家名 | 制作年 | 材質技法 | 形状員数 | 所蔵 |
|------------------------------|----|----|---------------------------------|---------------|----------------------|------|------|--------------------|
| | 前期 | 後期 | | | | | | |
| 第4章 胸中の山水を求めて | | | | | | | | |
| 29 | 前期 | | ふがくず 富嶽図 | 木島櫻谷 | 大正時代(20世紀) | 絹本着色 | 1幅 | 京都府 (京都文化博物館管理) |
| 30 | | 後期 | ふがくず 富嶽図 | 木島櫻谷 | 昭和時代(20世紀) | 絹本着色 | 1幅 | 櫻谷文庫 |
| 31 | 前期 | | ひばく 飛瀑 | 木島櫻谷 | 大正～昭和時代 (20世紀) | 紙本墨画 | 1幅 | 京都府 (京都文化博物館管理) |
| 32 | | 後期 | ばくふ 瀑布 | 木島櫻谷 | 昭和時代(20世紀) | 絹本着色 | 1幅 | 櫻谷文庫 |
| 33 | 前期 | | がんばきにとり 岸壁に鳥 | 木島櫻谷 | 大正～昭和時代 (20世紀) | 紙本着色 | 1幅 | 櫻谷文庫 |
| 34 | | 後期 | うみべ 海辺 | 木島櫻谷 | 大正～昭和時代 (20世紀) | 紙本着色 | 1幅 | |
| 35 | | | ほうげいさんすいぼくさんすいず 仿倪瓚水墨山水図 | さしひょう 査士標 | 康熙14年(1675) | 紙本墨画 | 1幅 | 櫻谷文庫 |
| 36 | | | ほうきよねんすいぼくさんすいず 仿巨然水墨山水図 | りくせんこう 陸潜光 | 17～18世紀 | 紙本墨書 | 1幅 | 櫻谷文庫 |
| 37 | | | のうひかくちゆうぐうせいし 草書自詠詩「濃飛客中偶成詩」 | 木島櫻谷 | 大正～昭和時代 (20世紀) | 紙本墨書 | 1幅 | 櫻谷文庫 |
| 38 | | | せんかくさいしず 仙客採芝図 | 木島櫻谷 | 大正15年(1926) | 絹本着色 | 1幅 | 京都府 (京都文化博物館管理) |
| 39 | | | がざんまい 画三昧 | 木島櫻谷 | 昭和6年(1931) | 絹本着色 | 1幅 | 櫻谷文庫 |
| 40 | | | きょうちゅうのあき 峡中の秋 | 木島櫻谷 | 昭和8年(1933) | 絹本着色 | 1幅 | 櫻谷文庫 |
| 40-1 | | | きょうちゅうのあき おおしたえ 峡中の秋 大下絵 | 木島櫻谷 | 昭和8年(1933) | 紙本墨画 | 1面 | 櫻谷文庫 |
| エピローグ 写生にはじまり、写生におわる。 | | | | | | | | |
| 3 | | | おおはしまつじろうあて 絵葉書帖(大橋松次郎宛) | 木島櫻谷 | 明治～昭和時代 (19～20世紀) | 紙本着色 | 2冊 | 京都府 (京都文化博物館管理) |
| 1-11 | | | しょうらいとうせいあかし 写生帖《松籟濤声》明石 | 木島櫻谷 | 明治36年(1903) | 紙本着色 | 1冊 | 櫻谷文庫 |
| 42 | | | つきがせしゆんしよくず 月瀬春色図 | 木島櫻谷 | 明治～大正時代 (20世紀) | 絹本着色 | 1幅 | 京都府 (京都文化博物館管理) |
| 42-1 | | | つきがせ スケッチブック月ヶ瀬 | 木島櫻谷 | 明治40年代頃 | 紙・鉛筆 | 1冊 | 櫻谷文庫 |
| 43 | | | つきがせにあそぶ 自詠詩画賛「遊月瀬」 | 木島櫻谷 | 昭和時代(20世紀) | 紙本着色 | 1幅 | 櫻谷文庫 |
| 44 | 前期 | | しゆんざんこうろ 春山行路 | 木島櫻谷 | 昭和時代(20世紀) | 絹本着色 | 1幅 | 櫻谷文庫 |
| 45 | | 後期 | しゆんそんきぼく 春村帰牧 | 木島櫻谷 | 大正～昭和時代 (20世紀) | 紙本着色 | 1幅 | 櫻谷文庫 |
| 46 | 前期 | | ぼしゅう 暮秋 | 木島櫻谷 | 大正時代(20世紀) | 紙本着色 | 1幅 | 京都市美術館 |
| 47 | | 後期 | うちゅうきりょう 雨中帰漁 | 木島櫻谷 | 昭和時代(20世紀) | 紙本墨画 | 1幅 | 櫻谷文庫 |
| 48 | 前期 | | あかしかくちゆうさくし 自詠詩画賛「赤石客中作詩」 | 木島櫻谷 | 昭和時代(20世紀) | 紙本墨書 | 1幅 | 櫻谷文庫 |
| 49 | | 後期 | せつご 雪後 | 木島櫻谷 | 昭和時代(20世紀) | 紙本淡彩 | 1幅 | 京都府 (京都文化博物館管理) |
| 5 | | | すいせき 櫻谷遺愛 水石 | — | — | — | 1式 | 櫻谷文庫 |



報告書ならびに、 写生帖データベース公開の お知らせ

昨年秋の特別展「木島櫻谷—山水夢中—」(京都会場)にあわせて実施した参加型プロジェクト「おおく足跡探訪」では、木島櫻谷が日々出かけて描いた京都近郊の風景をみなさんといっしょに探しました。このたび、みなさんからの情報をもとに作成した「おおく写生地MAP」を盛り込んだ報告書が完成いたしましたので、ご報告します。

右のQRコードより、PDFにてご覧いただけます▶▶▶



さらに、同じく文化庁 Innovate MUSEUM 事業の助成により木島櫻谷の写生を高画質でご覧いただける「木島櫻谷写生帖データベース」が完成、公開いたしましたので、こちらをあわせてお知らせいたします。

右のQRコードより、オンラインにてご覧いただけます▶▶▶



【次回展覧会】

企画展 楽しい隠遁生活 —文人たちのマインドフルネス

東洋の山水画には、生き方の理想や文学的なテーマが隠されています。とりわけ文人画には、厳しい現実から逃避するために積極な隠遁をめざす「過激な」隠遁から、田舎暮らしのスローライフを求める「楽しい」隠遁まで、実に多種多様な隠遁スタイルが見いだせます。「今この瞬間に意図的に意識に向け、評価をせずにとらわれない状態で、ただ観ること」を楽しんだ中国や日本の文人たちのマインドフルネスを求めて描かれた多様な隠遁スタイルを紹介します。

会 期 2023年9月2日(土)～10月15日(日)
休 館 日 月曜日(祝日の場合は翌平日休館)
開館時間 午前11時～午後6時(入館は午後5時30分まで)
*金曜日は午後7時まで開館(入館は午後6時30分まで)
入 館 料 一般1,000円 高大生600円 中学生以下無料
*20名以上は団体割引料金(一般800円、高大生500円)
*障がい者手帳ご呈示の方は無料
会 場 泉屋博古館東京(東京・六本木)

